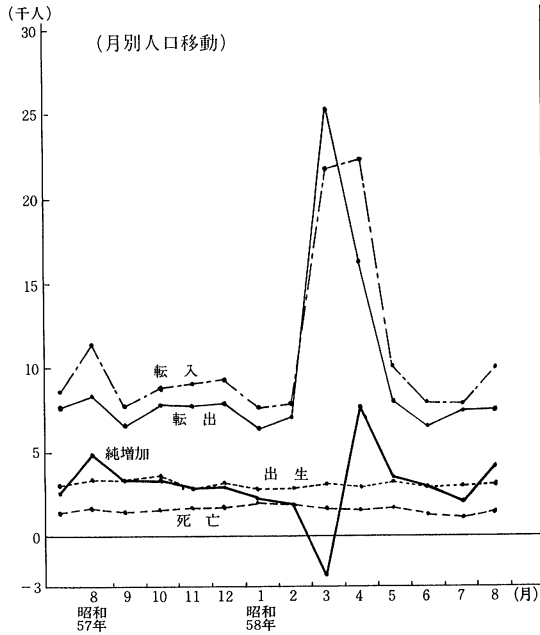
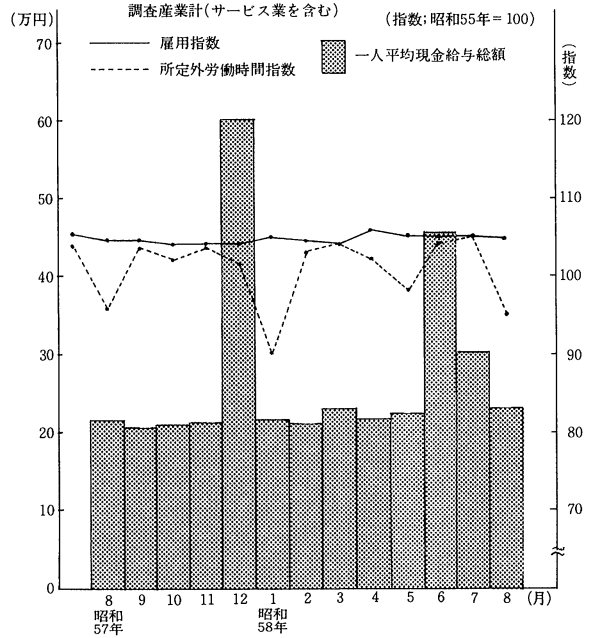


今月の主な動き

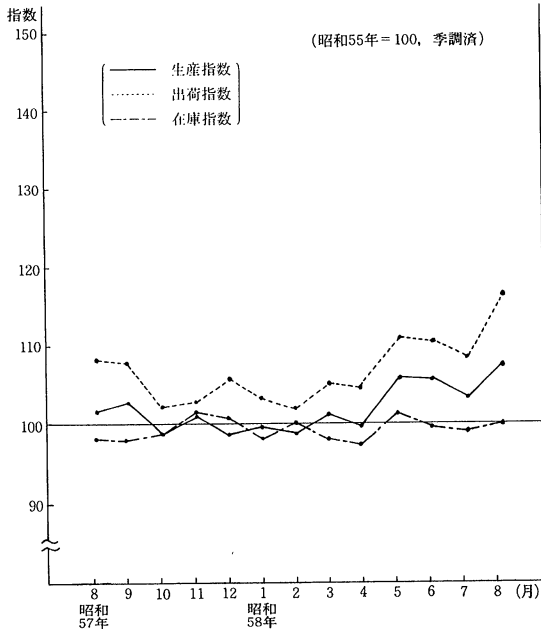
人 口



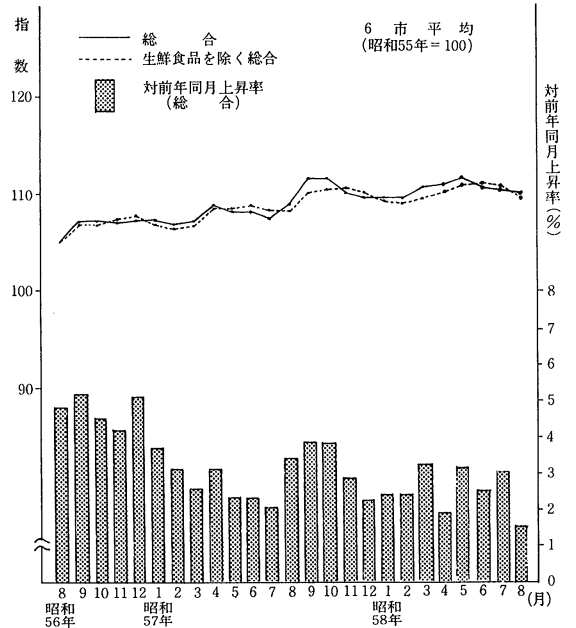
賃金・労働時間・雇用



鉱工業指数(生産・出荷・在庫)



消費者物価指数



主な動きのあらまし …………… 企画部 統計課

■人 口(9月1日)

本県の人口は、8月中に4,256人増加し、2,662,914人となった。昨年8月1日と比較すると33,610人(1.28%)の増加である。今月は例年、4月に次ぐ人口増加を示しているが、8月中の増加としては昭和51年に次いで少なくなっている。

内訳は、自然動態で1,915人(出生3,263人、死亡1,348

人)、社会動態で2,341人(転入9,986人、転出7,645人)の増加である。

市町村別では、増加18市53町村、減少18町村、増減なし3町村である。水戸市を始め、土浦市、牛久町等での増加が多い。

世帯数は1,046世帯増加し736,709世帯となった。

■賃金・労働時間・雇用(8月)

1. 平均賃金の推移

8月の常用労働者(「調査産業計」サービス業を含む。)1人1ヵ月平均現金給与総額は222,766円で、前月に比べ特別給与の支給の関係で26.7%減(前年同月比3.2%増)であった。

このうちきまって支給する給与は209,312円で、前月に比べ1.6%減(前年同月比3.4%増)であり、特別に支払われた給与は13,454円で、前月に比べ78,133円減であった。

2. 労働時間

総実労働時間数は166.9時間で、前月に比べ8.7%減(前

年同月比2.7%増)であった。

このうち所定内労働時間数は152.2時間で、前月に比べ8.5%減(前年同月比3.1%増)であり、所定外労働時間数は14.7時間で、前月に比べ9.9%減(前年同月比0.7%減)であった。

3. 雇用の動き

雇用の動きを雇用指数(昭和55年=100)によってみると、105.0で、前月に比べ0.2ポイント減、前年同月に比べ0.5ポイント増であった。

■鉱工業指数<生産・出荷・在庫>(8月) —生産・出荷・在庫いずれも上昇—

昭和58年8月の本県の「鉱工業指数」(昭和55年=100)は、季節調整済指数で、生産が107.8、出荷が116.8、在庫が100.0で、前月比は4.7%、7.6%、1.0%といずれも上昇した。前年同月比(原指数)は、6.2%、7.9%、2.1%と上昇をしている。

生産を業種別にみると、精密機械、化学、石油・石炭製品等が上昇し、輸送機械、その他の製品等が低下した。

出荷を業種別にみると、精密機械、石油・石炭製品等が

上昇し、輸送機械等が低下した。

在庫を業種別にみると、電気機械、皮革製品等が上昇し、化学、パルプ・紙・紙製品、その他製品等が低下した。

特殊分類別にみると、生産では、資本財、その他用生産財等が上昇し、建設財等が低下した。出荷では、資本財、非耐久消費財、その他用生産財等が上昇した。在庫では、耐久消費財等が上昇し、鉱工業生産財、その他用生産財等が低下した。

■消費者物価指数(8月) —対前月比(-)0.2%の下落、対前年同月比(+)1.5%の上昇—

昭和58年8月の茨城県消費者物価指数は、55年を100とした総合指数で110.2となり、前月に比べ(-)0.2%の下落、前年同月に比べると(+)1.5%の上昇となっている。

今月上がった主な項目……果物(+10.5%(うち生鮮果物(+10.8%)), 野菜・海草(+8.2%(うち生鮮野菜(+13.3%))

今月下がった主な項目……衣料(-)16.2%, シャツ・下着

(-)5.1%, 身の回り用品(-)2.8%

費目別指数(55年=100)

1 食料	112.5	6 保健医療	105.8
2 住居	112.0	7 交通通信	106.1
3 光熱・水道	108.8	8 教育	127.6
4 家具・家事用品	104.0	9 教養娯楽	112.5
5 被服及び履き物	98.4	10 諸雑費	111.8